

## 第2回触媒工業協会、触媒資源化協会共催講演会を開催

2017年に引き続き触媒工業協会と触媒資源化協会の共催による講演会を2018年9月13日（金）、学士会館において開催した。講師は日興リカ㈱のご紹介で首都大学特任教授、東京農工大学名誉教授である小宮三四郎先生にお願いし「触媒発見に見るセレンディピティ」というタイトルでお話しいただいた。両協会合わせて46名の参加があった。







講演の後の懇親会に際して触媒資源化協会安田会長は以下のようにご挨拶された。

「どうも皆様、お疲れ様です。本日は 45 名の方が講演会にご参加戴いているという話で、どうもありがとうございます。小宮先生におかれましては、大変示唆に富む面白い講演をして頂きまして大変ありがとうございました。私はセレンディピティという言葉の意味を勘違いしておりまして、単に幸運をつかむ、運がいいという意味でとらえていたのですが、先生のお話のように、準備した心と基礎知識があつて、偶然を見逃さない眼と言いますか、そういったものが需要だという事がよく判りました。また、一瞬の偶然を実際に体系化して学問なり、技術に仕上げていくための大変な努力があるものだ、という事を改めて感じさせていただいた次第でございます。本当に面白い講演で時間を忘れて聞かせていただきました。どうも有難うございました。

さて、本日の講演会でございますが、私も実はこの 5 月から会長を承っております、初めての講演会という事ですけれども、触媒を作る側とそれをリサイクルする側が一堂に集まって、こういった講演会などお話をする機会を持つことが出来る非常にユニークな集まりであると感じております。先ほどの先生のお話ではないですけれども、偶然を幸運につなげるためには、異なった視点を持つ方々が、それぞれの見方、眼で見る必要があると思っております。こういう集まりというのは、触媒というつながりはございますけれども、

いろいろな視点で見ることができる方々が集まっており、セレンディピティを実現する、非常に大きなチャンスではないかと感じました。

そういう事で本日のこの講演あるいは懇親会での皆様との懇親を十分に生かして戴いて次の幸運を皆様に掴んでいただけたらと感じた次第でございます。

それでは乾杯させていただきます。本日もご出席の皆様のご健康とそしてセレンディピティの実現を祈念いたしまして乾杯させていただきます。

乾杯！」

懇親会は和やかな雰囲気で行われ、最後に触媒工業協会の細野評議員の中締めで締めくくった。